

～トコトコ 新春号～

★会社スローガン★
何も変えないことが一番悪い！

2018年（平成30年）01月10日（水）



2018年新年に寄せて

皆さん、あけましておめでとうございます。今年も平昌冬季オリンピックの年ですね。そして一年を通して「平成」を伝える最後の年でもあります。2019年の5月に新たな年号が始まるまであと1年4カ月余り。何か感慨深いものがあります。

皆さんには折に触れお伝えしていますが、私たちは今、時代の大きな転換点に立っているようです。第2次世界大戦後、世界政治経済の中心にいたアメリカが、トランプ大統領の出現によって、大きくその有様を変えています。自国第一主義を声高に叫び、トコからは外れ、ユネスコからは脱退し、非常に微妙なバランスの上に成り立つ中東で、事も有るうか、エルサレムを首都と承認し、米大使館の移転を決定する暴挙に出ました。これには驚きました。完全に世界のリーダーの地位を放棄する言動だと思えます。

一方欧州も、戦後脈々と続き築き上げてきた統合の流れが、その中心メンバーである英国の離脱により、変化しようと感じています。

日本においても、複数の世界的大手メーカーで数々の品質偽装が発覚し、日本製品の信頼の証である品質神話が揺らいでいます。そして、日本を代表する企業の1つである東芝は、買収戦略の失敗により、企業としての存続が危うくなる事態に直面しました。

どうですか、皆さん。ものすごく大きな時代の変化を感じませんか？ そのような中、今年もトコには5人の新人が入社する予定です。大卒3名、高卒2名が現在の内定者です。トコには12月末時点で、正社員が私を含め81名。その内20代社員が22名です。これが4月には27名となり、3割以上となりま

この事が何を意味するのか？変化に対応する事が出来る要因の一つに「若さ」があります。トコの社員年齢の若さは、この動きが早く、変化が激しい時代を生き抜くのに、大きな武器となるのです。さて、ここで敢えて言わせて頂くのなら、「若さ」イコール「年齢」ではありません。気持ちの若さ、チャレンジ精神、旺盛な好奇心・向上心などを持ち合わせる事が「若さ」です。若手だけでなく、ベテランの皆さんも大いに若さを持つてください。

最近「人手不足」が大きな話題となっています。中小企業に止まらず大手企業も、新卒採用に苦勞していることはご存じですね。このような時代にも拘わらず、なぜトコは毎年複数の新卒者を採用できているのか？そして75:3（入社3年以内の離職率）が中卒7割、高卒5割、大卒3割と言われているなか、なぜトコは高い定着率を保っているのか？それは新卒者にアピールできる企業文化、企業体質を、皆さんと共に創り上げてきたからです。

11月からスタートした、第4期拓来会の発会式で、私は言いました。従来の拓来会の活動テーマである「風通しの良い風土づくり」に加えて、これからは「皆が好きな会社づくり」を活動テーマとして欲しい。この「好き」と思える会社が「会社の強さ」に繋がると、最近私は強く思うようになってきました。

今年も皆さんと一緒に「好きと思える会社づくり」を行い、トコを更に強い会社とすることで、この動きの激しい、変化の時代に立ち向かいたいと、私は考えます。どうぞ、今年も宜しくお願い致します。

社長 櫻井誠健



社員自己紹介

★赤須祐介（川崎事業所・常置）
初めまして、11月13日から入社いたしました赤須祐介です。
一緒に働く人たちの迷惑にならない様に、一日も早く作業環境に慣れる様に努力しますので宜しくお願い致します。



★乾裕介（横浜金沢事業所）
初めまして、横浜事業所に10月から入社しました。乾裕介です。
現在、出荷代行業務として陽和様の出入庫業務を担当しています。
まだまだわからない部分もありますが、「一生懸命覚える」最中です。
トコに入社前は自衛隊に入隊していました。潜水艦に乗り、小銃を撃ったり、いろいろな貴重すぎる体験をしてきました。
が、とにかくガッツが身につきました。
身につけたガッツをフルパワーにして頑張っていきたいと思います。
宜しくお願い致します。



★相原裕美（横浜金沢事業所）
はじめまして。
横浜金沢事業所に11月に入社しました。相原裕美です。出荷代行の事務部門を担当しております。長年勤めた仕事を辞めて、不安でいっぱいでしたが、皆さん優しく教えて下さり感謝しています。これからも頑張っていきたいと思います。
どうぞ、宜しくお願い申し上げます。



薬師班長へインタビュー

今回は、東扇島事業所・薬師班長へインタビューを行いました。
早速お話を伺いましょう。

【仕事】
◆薬師さんが現在担当されている業務について教えてください。
主に現場管理と資材管理をしています。他に、輸出梱包用木材熱処理証明作成や部品管理も行っております。生産量が多い、欠員がでた場合などに現場にて作業をすることもあります。
◆入社されてから今まで、特に印象的な出来事がありましたら教えてください。
2011年東日本大震災後の夏に入社しましたが、ちょうど混乱期で工場に朝出勤すると納場に置ききれない部品が通路にも溢れており、作業エリアにたどり着くのも「苦労だったこと」です。
また、社内イベントも思入れ深い出来事です。ボーリング、懇親会、パーベタなどがと事業所間の垣根無く楽しめたことがとても良い思い出です。
【プライベート】
◆休日は何のように過ごされますか？
1歳半の息子がいるので、息子と公園に遊びに行ったり、買い物に行ったりとのんびり過ごすことが多いです。
◆お子さんが生まれてから、変わったことありますか？
生活リズムや出掛ける場所、テレビで見る番組に至るまで、子供中心になりました。
◆それも許せる程、子供が可愛いです。趣味について教えてください。
息子が車の電車好きになり、電車を見せに連れて行っているうちに私も少少好きになってきました(笑)
親子で電車マニアになる日が来るかもしれません。

◆今年のお正月はどのように過ごされましたか。
家の近所の動物園に家族で出かけました。息子にはちよっと早かったのか、動物を見るよりも走り回れることが何よりも嬉しそうでした。
私はそんな息子を追いかけ回り、よい運動になりました。
◆では最後に、2018年の目標を教えてください。
心に余裕を持ち、仕事でも家庭でも頼りにされるよう頑張ります！
質問は以上になります。
お忙しいところ、インタビューへご協力頂き、ありがとうございました。

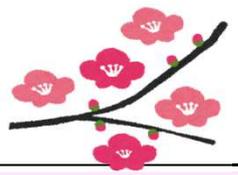


改善提案表彰

【累計表彰1800点】
大塚 翔馬（習志野事業所）

【累計表彰1000点】
小黒 遼馬（総合サポート課）

【累計表彰200点】
内藤 廣（東扇島事業所）
石黒 教文（習志野事業所）
千葉 秀明（川崎事業所）



プロジェクトの進捗を
毎月レポート

2018年1月より、各種プロジェクトがメンバー新たにスタートします。前メンバーへプロジェクトを終えてこれまでの活動の取組みや感想、次期メンバーへ期待することについてお話を伺いました。

◆現場力プロジェクト◆

現場力プロジェクト（第一期）では、現場で実行する行動力こそ現場力と定義し、その現場力の向上を図るため、安全・品質を中心に多くの活動を行いました。

- 1 手順書作成
（品質安全項目追加）
 - 2 新人導入資料作成
（会社概要／品質標準／マナー・モラル／安全標準・事業所別）
 - 3 フォークリフト安全標準作成
 - 4 リスケアセメント
 - 5 体感訓練
 - 6 KYT
 - 7 安全巡視
 - 8 安全週間クイズ
 - 9 フォークリフト全社安全講習
 - 10 KPI報告
 - 11 圧倒的No.1 2S 4Sコンクール
 - 12 スキルアッププログラム
- 良かった点は、フォークリフトの安全講習で、実際に効果が見られたこと、安全・品質・改善・生産性などについて数値化し、毎月確認していくことで（KPI報告）、良い悪いの判断が可能となったため、今までより意識が高くなり、行動につながるものが出来たことです。反省点は、多くの活動を事業所単位で行ったために、中途半端になった活動があること、KPIに対し、後追い対策が多く、先行した活動が出来なかったことです。第2期に望むことは、多くの活動を行うのではなく、大きな課題を見つけ、プロジェクトとして取り組んでいく形が望ましいでしょう。また、3つのプロジェクトの連携を図ることを期待しています！

【第一期メンバー】
高橋望（本社）・栗原（習志野）・日比（横金）・バト（川崎）・村上（東扇島）
吉川（厚木）・荻窪（OG）（敬称略）

◆マーケティングプロジェクト◆

マーケティングプロジェクトは、全9回開催されました。その中でマーケティングに必要なコンテンツを構築し、創りあげていくという試みを行ってききました。なにより、初の試みの活動であったので、皆さん本当に苦労されたと思います。マーケティングに必要なコンテンツとは、自社のサービスを定義すること、そのサービス情報が必要なところ、そのサービスがどこで必要となるか、そのサービスがどこで活用されるかです。そのために、一から全員で取り組んで来ました。

活動内容の功績としては左記のことがあげられます。

- ・自社のサービスの強みをまとめ
- ・自社のサービスの表現方法をまとめ
- ・営業ツールを開発（配布資料・HP）
- ・外部発信ツールを開発（メルマガ情報処理）

・トーコンの強みとアウトソーシング事業とをどのようにミックスさせて表現するか？それをどのように営業ツールに落とし込むか？というように情報発信するか？というように情報を得て貰うのか？といった課題に対し、基礎の構築は出来たと、思っております。

営業ツールとして作成したパンフレットは、すでに新規顧客の営業に活用され、受注まで漕ぎ越えることが出来ました。それなりの実績成果も得られているものであると感じます。

ただ、問い合わせ件数が増えたか？という点、そうでもないですし、大きな差別化が行えているか？という点、そうでもありません。

第二期においては、第一期で行った活動をよりグレードアップさせていくことを中心にサービスの差別化やNO.1化をどのように構築し表現していくのか？という点を実践していきたいと思えます。



12月に第2期メンバーによる一回目のPJTが開催されました



12月に第一期メンバー総括を行いました

◆人財力プロジェクト◆

人財力プロジェクトはDiscovery 2020の3本柱の一つとして2016/7/11にスタートし、2017/8/8までの間に17回開催され、少し間をおいて12/22に総括と振り返りを行いました。

プロジェクト活動の目的は「トーコン社員の人財力を向上させること」。ただし、それは、経営理念Discovery 2020という会社の目的を実現するための手段であるとの共通認識を持ち、会社や社会への理解を深めながら人財に関する様々なことを話し合い、課題を抽出して実行項目を絞り込みました。

その代表的なものが新考課システムの構築です。評価の項目を分かりやすく、基準を明確にしており「成果の評価」はその成果を出すための知識・能力の評価、「知識・能力を身につける」構成になっています。ほぼ完成することができ、2018年に運用を開始する予定です。

考課の構築は、一大事業といっても良いほどの検討内容や難しさ、そして作業量がありました。メンバーのほとんどが二不慣れな内容で、開始当初は不安ややるべきことがあるが、途中からは悩みながらも勢いをつけて作り込んだ感があります。

前向きで責任感と実行力のあるメンバーだと実感しましたし、お互いに学びあうことも出来ました。

2018年1月から始まる第2期の活動も楽しみです。

【第一期メンバー】
島田・栗原（本社）・中津川（総サポ）・安部（川崎）・梅原（川崎）・薬師（東扇島）
江川（OG）・大庭（成田）（敬称略）

◆拓未会◆

拓未会第3期拓未会としましては、第2期と合同のバーベキューイベントの開催、会報のフォーメット刷新、ラクニエ腰部サポートウェアの導入検討、社長インタビューなどの動画撮影、ありがとうカードの導入、ポウリングイベントの開催など、様々な取組を行いました。

中でも、動画撮影とありがとうカードの導入は、これまでにない新たな試みで、第3期独自の色を出せたかなと思います。これもひとえに皆様のご理解とご協力あってこそ結果です。この場をお借りして衷心より御礼申し上げます。

第4期拓未会には、今まで出来なかった新たな社内イベントの開催を期待したいです。これから沢山の苦労があるとは思いますが、大いに悩んで、大成の2年間にして下さい。

【第三期メンバー】
田口（習志野）・菊田（東扇島）・石川（横金）・関根（川崎）・古川（総サポ）（敬称略）



【第4期拓未会メンバー】
左から及川（川崎）・高橋紫（横金）・櫻井武海（成田）・宗重（習志野）
梅野（OG）・兄内（東扇島）

◆安全プロジェクト◆

今期安全プロジェクトは、「知らない」が故に負う危険を少しでも軽減できればという思いから、下記2点の資料作りを中心に活動しました。

- ①「新規作業者のための危険箇所ガイド簡易的な作業手順書」
- ②「バッテリー式フォークリフトの月次点検表+補助資料」

もし、上記資料が少しでも知識の共有に役立つことがあれば幸いです。プロジェクトを通じてメンバーにとって、ためになったことは、

・後者②の資料の作成に際しては、社外の方にもご協力頂いたため、勤続年数が短く、社外的やり取りに乏しいメンバーにとっては良い経験になったことです。

反省点は、前者①の資料は、メンバーの所属事業所ごとに作成したこともあり、資料を活用できる事業所が限定的になってしまったことです。

【第三期メンバー】
増田（横金）・森實（東扇島）
保田 四天（OG）（敬称略）



【安全PJT第4期メンバー】
左から今野秀子（横金）・大塚（習志野）・渡部（厚木）
王曉亮（OG）・高橋舞緒（東扇島）

今年から、配偶者控除・配偶者特別控除が変わります。

主な改正内容は次の通りです。

- ◎ 配偶者控除に世帯主の合計所得要件が追加されます
- ◎ 配偶者控除、配偶者特別控除ともに、世帯主の合計所得額によって、段階的に控除の額が変わります

その他、詳しい内容に関しては、改めてお知らせさせて頂きますので、そちらでご確認ください。

また、国税庁のHPにも詳しく掲載されており、ご確認いただけます。

編集後記

新年に相応しく、新たな「スタート」に関する情報満載の号号となりました。各プロジェクト活動は、現在の「トーコン」の大きな軸となっており、各メンバーは勿論のこと、社内全体、全員がプロジェクトより刺激を受けて、更に発展する一年にしたいと思えます。皆様にとりまして、

「ワンダフル」な年となりますように。

（中）